

アムンディ・マーケットレポート

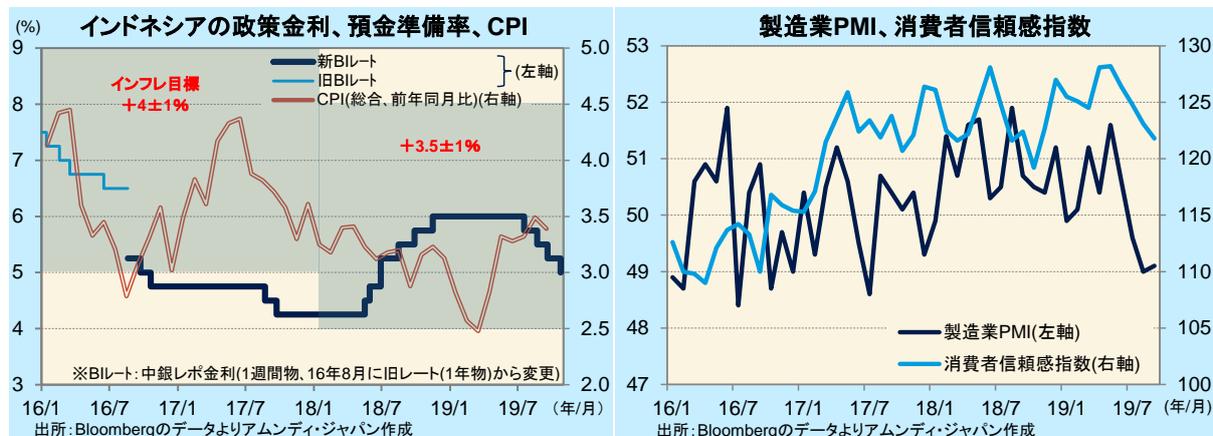
インドネシアの金融政策(2019年10月)～今後の市場展望

- ① 政策金利は0.25%引き下げの5%でした。世界的な金融緩和に追随し、国内景気の下支えを目指します。
- ② 中銀は景気・物価見通しを変えていませんが、引き続き緩和的な政策スタンスを維持する見込みです。
- ③ 景気下押しリスクの軽減で、投資資金の流入から株価、為替相場はおおむね底堅いと見込まれます。

世界経済減速の影響を軽減

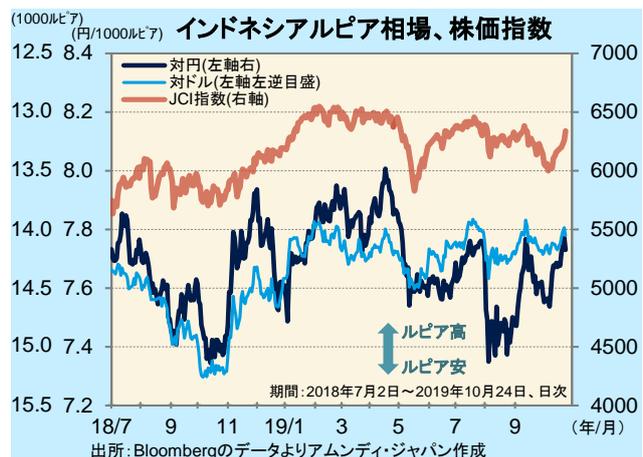
インドネシア銀行(BI、以下、中銀)は23-24日に定例理事会を開き、政策金利のBIレート(7日物レポ金利)を0.25%引き下げ、5%としました。4ヵ月連続の利下げです。世界的な景気減速を受け、欧米や主な新興国の多くが金融緩和を実施していることに追随した形です。製造業PMI(購買担当者景気指数)や消費者信頼感指数などの景況感指標がこのところ弱く、金融緩和によって景気の下支えを目指します。年内はまだ追加緩和の余地があると見込まれます。

インフレは依然として安定しています。これまでの景気拡大を受け、インフレ率は底打ちしていますが、9月のCPIは前年同月比+3.4%と、中銀のインフレ目標(+3.5±1%、2020年は+3±1%)内で安定しています。中銀は、現在の金融政策スタンスの下で、今後も目標圏内で推移すると想定しています。また、経済成長率については、2019年は+5.0~5.4%、2020年は+5.1~5.5%と、これまでの景気拡大ペースが維持されると想定しています。



景気下押しリスク軽減が追い風に

利下げを受け、景気下支え効果への期待から株価が上昇しました。このところ、企業業績見通しは弱含みとなっていますが、今後好転していくことが期待され、株価は底堅さを増すと予想されます。また、為替相場は、金利低下で足元は若干ルピア安となっていますが、金融緩和で景気下押しリスクが軽減されることで、投資資金の流入が促されることが期待されます。為替相場は、目先はルピア安でも、やや長い目で見れば、景気実態の改善が下支え要因になると考えられます。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.85%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.254%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うことになります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1910077>